

令和元年11月15日

## 文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）について

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和元年11月15日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに133件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、12,590件となる予定です。

### 1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	133件 22都道府県40市町村(区)	12,590件 47都道府県954市町村(区)

### ○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	27	39	24	43	133
累 計	2,251	4,014	2,570	3,755	12,590

### ○種 別 (件)

	産 業			交通	官公庁舎	学校	生活関連	文化福祉	住宅	宗教	治山治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	2	23	11	1	1	8	1	2	59	23	0	2	133
累計	118	1,291	1,569	505	225	384	336	386	5,659	1,826	208	83	12,590

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	113	3	17	133
累 計	9,939	643	2,008	12,590

## 2. 今回の答申における主なもの

### ① わが国現存最古級の鋼製アーチ橋

とつなばし  
十綱橋 福島県福島市

いいざか あぶくまがわ すりかみがわ  
飯坂温泉を貫く阿武隈川水系摺上川に架かる、大正4年に建設された道路橋。支間長約40メートルの2ヒンジ鋼製アーチの兩岸側にI形鋼桁を取り付け、全長約52メートルの橋とする。山形鋼を組み合わせたブレースドリブアーチと垂直材からなる繊細な外観が特徴。温泉街のシンボリック存在であると共に、わが国の鋼製アーチ橋の発展を物語る貴重な土木遺産。



### ② 和風意匠を大胆かつ破綻なくまとめたホテル建築

なんま ゆうわかん はがくんましこまち  
旧南間ホテル別館（ましこ悠和館） 栃木県芳賀郡益子町

ゆもと  
奥日光湯元温泉に所在した南間ホテルに昭和4年頃に建てられた別館建物を、昭和48年に益子町に移築したもの。入母屋造りの主体部両端から入母屋造りの翼部を突出したコの字形平面で、真壁造の外壁に、刎高欄や腕木庇などの和風意匠を巧みに取り入れた外観とする。戦時中に明仁上皇が学童疎開時に滞在した建物としても知られる、近代の和風ホテル建築の好例。



### ③ 多角的な商売を展開した豪商の住宅

だて おもや すずか  
伊達家住宅主屋 三重県鈴鹿市

やごう あぶらや  
鈴鹿市東部の伊勢湾沿岸にある屋号を油屋と称した商家の住宅で、明治中期に現在地に屋敷を構えたと伝わる。主屋は伊勢街道に西面して建つ木造2階建て、切妻造り棧瓦葺きで、中央主体部の南側に米蔵、北側に納戸を並べる。黒漆喰塗りの外壁に虫籠窓を穿つなど、重厚な表構えをみせる。肥料、燃料、米等の商いや山林の経営を行った商家の屋敷構えを良く残し、街道の歴史的景観を今に伝える。



④ <sup>く ないしやうたくみりやう</sup>宮内省 内匠寮 の設計による貴重な水道施設  
旧御所水道ポンプ室 京都府京都市

御所水道は、<sup>びわこそすい</sup>琵琶湖疏水から京都御所へ防火用水を送る水道施設。疏水沿いに建つポンプ室は、高所にある御所水道の貯水池に送水するための施設として建設された。宮内省内匠寮の設計で、片山東熊、山本直三郎が担当したと伝わる。主体部を<sup>れんがぞう</sup>煉瓦造としながら隅は石積みとし、屋根は<sup>よせむね</sup>寄棟造りで各所にドーマー窓を配す。正面にポーチコ、上部をアーチとした縦長窓を用い、重厚感ある意匠に仕上げる。



⑤ 複雑な形状をみせるキャンパスの象徴的施設  
<sup>こうなん</sup>甲南女子中学校・<sup>なんろく</sup>高等学校講堂など6件 兵庫県神戸市

六甲山地の南麓にあるキャンパスの斜面地に建つ講堂。建築家・<sup>むらのとうご</sup>村野藤吾の設計で、昭和43年に完成した。外観は斜めに立ち上がる壁面に、入り組んだ屋根をかけた複雑な形状とする。内部は六角形平面の北をステージ、南を台形に突き出して座席とする。天井や壁の<sup>ですみ</sup>出隅に曲線を多用する有機的な<sup>しつら</sup>設えとし、村野の造形的特徴を伺わせる建物。



撮影：甲南女子学園

⑥ 江戸時代の寺院客殿の様相を残す貴重な遺構  
旧慈門院 客殿及び庫裏 (陶原家住宅主屋) など5件 奈良県桜井市

慈門院は妙楽寺の子院で、客殿及び庫裏は江戸中期の建設と伝わる。明治2年の<sup>しんぶつぶんり</sup>神仏分離によって妙楽寺が<sup>たんざんじんじや</sup>談山神社となったことに伴い、当時の住職が<sup>げんぞく</sup>還俗し<sup>しゃけじゅうたく</sup>社家住宅となった。切妻造り<sup>きりつまづく</sup>棧瓦葺きで、西の庫裏を落ち棟とし四周に下屋を廻す。書院の障壁画、四室にわたって描かれている<sup>ふすま え</sup>襖絵や板絵は、昭和49年に重要文化財に指定され、奈良国立博物館に寄託されている。近世の妙楽寺子院の様相を今に伝える。



＜担当＞	文化庁文化財第二課	電話：03-5253-4111（代表）
	課長 岡本 任弘	
	課長補佐 田井 祐子	
	登録部門 江島 祐輔, 福田 剛史, 坂本 萌（内線 2797）	
	審議会係 小島 学, 森 弓乃（内線 3160）	

	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
1	鈴木酒造店事務所兼主屋	秋田県大仙市	M中期/S10年頃・同32年頃改修	鈴木酒造店は元禄(げんろく)年間創業と伝わる酒蔵で、近代の建築群が残る。事務所兼主屋は旧角館街道に北面して妻入りで建ち、通り土間に面してガラス戸で明るい大開口をとるなど、豪雪地帯ならではの工夫がみられる。上座敷はイチイや黒檀などの銘木を用いて趣向を凝らした接客空間。文庫蔵は丁寧な漆喰(しっくい)仕上げなど高い左官技術を見せる。前蔵は桁行19mの大型土蔵で、仕込みを行う醸造蔵。中蔵及び袖蔵も桁行24mの大型土蔵で、下屋(げや)に酒税検査場などを増築した。北蔵はかつて中蔵との間に槽場があり醸造の中心施設。仕込蔵は桁行22m梁間8mの大型土蔵で、小屋組みはキングポストトラス。	建築物	産業2次	1
2	鈴木酒造店上座敷		T前期		建築物	産業2次	2
3	鈴木酒造店文庫蔵		M29年/S61年改修		建築物	産業2次	3
4	鈴木酒造店前蔵		M32年		建築物	産業2次	2
5	鈴木酒造店中蔵及び袖蔵		T前期/S10年増築		建築物	産業2次	1
6	鈴木酒造店北蔵		M30年		建築物	産業2次	1
7	鈴木酒造店仕込蔵(しこみぐら)		S40年/H15年改修		建築物	産業2次	1
8	旧遠万(えんまん)織物(創匠庵(そうしょうあん))主屋	山形県米沢市	T後期/H19年改修	旧遠万織物(創匠庵)は明治創業のもと機屋で、大正の米沢大火前の土蔵と大火後の主屋、昭和の新蔵が残る。主屋の居室部は天井が高く上質な造りで、米沢の織物業の繁栄を伝える。前蔵は米沢大火から焼け残った希少な蔵。新蔵の小屋組みはキングポストトラスで、昭和前期の建築。	建築物	産業2次	1
9	旧遠万織物(創匠庵)前蔵(まえのくら)		M6年/H19年改修		建築物	産業2次	1
10	旧遠万織物(創匠庵)新蔵(しんくら)		S前期		建築物	産業2次	1
11	旧堀切家住宅主屋	福島県福島市	M14年	旧堀切家住宅は福島市中東部の摺上川(すりかみがわ)右岸に位置する。主屋は希少な天然スレート葺きの近代和風建築。新蔵は明治13年の大火後に建てたと伝わる。中蔵は1階を座敷とし中央に耐火金庫を置く。道具蔵も含めた敷地内の蔵は同じ外観意匠(いしょう)で構成する。書庫は昭和40年頃弁護士だった当主が建てた。表門は旧家の表構えを構成する。	建築物	住宅	2
12	旧堀切家住宅新蔵		M中期		建築物	住宅	1
13	旧堀切家住宅中蔵(なかのくら)		M前期		建築物	住宅	1
14	旧堀切家住宅道具蔵		M前期		建築物	住宅	1
15	旧堀切家住宅書庫		S40年頃		建築物	住宅	1
16	旧堀切家住宅表門		M前期		工作物	住宅	1
17	十綱橋(とつなばし)	福島県福島市	T4年/S42年改修	十綱橋は阿武隈川(あぶくまがわ)水系の摺上川に架かる、繊細な外観が特徴で、現存最古級の鋼製アーチ橋。	土木	交通	1
18	旧南間(なんま)ホテル別館(ましこ悠和館(ゆうわかん))	栃木県芳賀郡益子町	S4年頃/S48年移築、H31年改修	旧南間ホテル別館(ましこ悠和館)は、昭和4年頃に奥日光湯元温泉に建て、昭和48年に現在地に移築したもの。戦時中は明仁上皇陛下の疎開先となったことでも知られる。	建築物	産業3次	2
19	旧埼玉県立松山中学校校舎(埼玉県立松山高等学校記念館)	埼玉県東松山市	T12年/S45年移築	旧埼玉県立松山中学校校舎は、大正12年の建築で、昭和45年に両翼を撤去し、現在地に移築した。埼玉県内の旧制中学校の遺構として貴重なもの。	建築物	学校	2
20	島村老茶舗(ろうちゃほ)店舗兼主屋	埼玉県桶川市	T15年/H30年改修	島村老茶舗店舗兼主屋は、旧桶川宿に位置し、中山道に西面して建つ商家。大正15年の建築で、平成30年に前面道路の拡幅に伴い曳家(ひきや)し、改修している。少なくなりつつある旧桶川宿の様相を今に伝える。	建築物	産業3次	1
21	星野家住宅主屋及び袖蔵	埼玉県入間郡越生町(おごせまち)	M41年/H15年改修	星野家住宅主屋及び袖蔵は、明治時代に三井呉服店出張所として、生絹(きぎぬ)仲買取引を行っていた。越生における絹織物業の隆盛の一端を伝える。	建築物	住宅	1
22	世界無名戦士之墓	埼玉県入間郡越生町	S29年	世界無名戦士之墓は、第二次世界大戦後に身元不明の遺骨などを祀(まつ)った礼拝施設。大観山山頂に位置する、地域のランドマーク。	建築物	宗教	1
23	百間(もんま)小学校すべり台	埼玉県南埼玉郡宮代町(みやしろまち)	T15年	百間小学校すべり台は、滑降面が入造石研ぎ出し仕上げ。大正15年に建設した鉄筋コンクリート造のすべり台として希少な現存例。	工作物	学校	3
24	川豊本店店舗	千葉県成田市	M44年頃/T15年増築	川豊本店は、成田山新勝寺の参道に西面して建つ、木造3階建ての店舗。明治44年頃に木造2階建てで建ち、大正15年に3階建てに増築したもの。現在はうなぎ屋が入っており、ひと際高い建物は、門前町の景観を特徴付ける。	建築物	産業3次	1
25	長濱家住宅主屋	東京都品川区	T10年頃	長濱家住宅は、明治末まで荒川舟運の船問屋を営んだ長濱家の隠居屋として建てた。主屋は建ちの高い2階建てで、戦災を免れた上質な近代和風住宅。門は主屋と同時期に建てたと伝わる、数寄屋(すきや)風の瀟洒(しょうしゃ)な門。	建築物	住宅	1
26	長濱家住宅門		T10年頃		工作物	住宅	1
27	旧三井文庫第二書庫	東京都品川区	T11年/T15年改修	旧三井文庫第二書庫は大正11年に三井家の資料管理のために建てた、鉄筋コンクリート造3階建ての書庫。二重の壁式構造や鉄筋コンクリート造スラブなど防火に優れた堅牢(けんろう)な造り。	建築物	文化福祉	2
28	旧東京市麻布区役所庁舎(日本獣医生命科学大学一号棟)	東京都武蔵野市	M42年/S12年移築、H24年改修	旧東京市麻布区役所庁舎(日本獣医生命科学大学一号棟)は明治42年の建築。木造2階建て、L字形の中廊下平面。昭和12年に六本木から現在地へ移築した。明治期の庁舎建築として貴重。	建築物	官公庁舎	1

	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
29	川井家住宅主屋	東京都多摩市	M18年頃/S30年頃増築、同57年改修	川井家住宅主屋は茅(かや)葺金属板仮葺の平屋建てで、小屋に2層の蚕室(さんしつ)を設ける。市街化著しい多摩地域に残る貴重な大型養蚕(ようさん)農家。	建築物	住宅	1
30	旧川井家住宅土蔵	東京都多摩市	T後期/S57年頃改修	旧川井家住宅土蔵は、主屋の南東に建つ。現在は多摩市に譲渡され、鶴牧西公園にあって背後の市指定天然記念物のシダレザクラと共に市民に親しまれる。	建築物	住宅	1
31	田中・大野邸主屋	神奈川県鎌倉市	S7年	田中・大野邸主屋は、外部に下見板(したみいた)、上げ下げ窓、フランス瓦などを用い、内部を洋室とするなど、全体を洋風意匠でまとめる。戦前の鎌倉に建ち、閑静(かんせい)な住宅街の当時の様子を伝える住宅。	建築物	住宅	1
32	玉屋本店店舗兼主屋	神奈川県藤沢市	S10年	玉屋本店は江ノ島参詣(さんけい)道沿いの老舗(しにせ)羊羹(ようかん)店。店舗兼主屋は木造2階建ての町家で、1、2階ともに正面を出桁(だしげた)造りとする。戦前の参詣道の様相を伝える。	建築物	産業3次	1
33	旧芦川(あしかわ)家住宅主屋(緑水庵)	神奈川県秦野市(はだのし)	S5年頃/H3年移築	旧芦川家住宅主屋(緑水庵)は、外壁を割り竹張りとするなど、竹の産地らしい特色を示す。現在は市立蓑毛(みのげ)自然観察の森のガイダンス施設。	建築物	住宅	2
34	富士屋旅館旧三号館	神奈川県足柄下郡湯河原町	T12年頃	富士屋旅館旧三号館は、湯河原温泉の川沿いに建つ2階建ての木造旅館。大屋根の中央に千鳥破風(ちどりばふ)を飾り、上階は刎高欄(はねこうらん)付の縁を廻(めぐ)らすなど風格ある立面を構成している。	建築物	産業3次	2
35	東山円筒分水槽(えんとうぶんすいそう)	富山県魚津市	S29年	東山円筒分水槽は、片貝川の扇状部に位置し、3つの用水へ分水する。地域の水利システム近代化の歴史を物語る。	土木	産業1次	1
36	赤祖父(あかそぶ)円筒分水槽	富山県南砺市(なんとし)	S24年	赤祖父円筒分水槽は、小矢部川水系赤祖父川の扇頂部に位置し、仕切板で3つの用水に分水する。砺波(となみ)平野における戦後の稲作の発展を支えた県内最古の円筒分水槽。	土木	産業1次	1
37	青木蘭麴堂(らんじゃどう)新座敷	福井県福井市	M前期/S前期・同44年改修	青木蘭麴堂は寛政11年(1799)に醸造業を創業し、嘉永(かえい)4年(1851)に始めた薬酒の製造販売を現在でも続けている。新座敷は主屋(登録範囲外)の北側に接続する。木造平屋建てで庭園鑑賞のために建てたと伝わり、全体に面皮材や丸太を多用した数寄屋風の意匠でまとめる。	建築物	産業2次	2
38	青木蘭麴堂離れ		T7年	離れは新座敷の西側で、同じく主屋の北側に接続し、手摺り越しに庭園を望む。酒蔵は仕込室、薬酒製造室、保管室等を配した土蔵で、薬酒製造の中心施設。	建築物	産業2次	1
39	青木蘭麴堂酒蔵		寛政(かんせい)12年(1800)/M後期増築、S37年頃改修		建築物	産業2次	1
40	大村家住宅主屋	山梨県韭崎市(いらさきし)	M40年頃/H2年頃改修	大村家住宅は代々農業を営んだ家で、2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智博士の生家。主屋は木造平屋建て、切妻(きりづま)造り棧瓦(さんがわら)葺きで、当地域の伝統を受け継ぐ農家住宅。土蔵は敷地東端の石垣上に建ち、農村集落の景観を構成する。近年はセミナーやワークショップ、各種講座など、人材育成を目的にした活用を図っている。	建築物	住宅	1
41	大村家住宅土蔵		T5年頃/S30年代増築、S20年頃・H2年頃改修		建築物	住宅	1
42	旧小諸(こもろ)脇本陣主屋	長野県小諸市	E末期/H31年改修	旧小諸脇本陣は、かつて脇本陣を務めるとともに旅館(はたご)を営んでいた。西側の数軒先には重要文化財旧小諸本陣が所在している。主屋は北国街道沿いに南面して建ち、近世宿場町の様相を伝えている。離座敷は田の字形平面の座敷を有し、主座敷には床、棚、書院を備えている。土蔵は土蔵造2階建てで、もとは家財蔵であった。平成26年に小諸市が取得し、同31年に滞在交流施設として整備した。	建築物	産業3次	1
43	旧小諸脇本陣離座敷		E末期/H31年改修		建築物	産業3次	1
44	旧小諸脇本陣土蔵		M前期/H31年改修		建築物	産業3次	1
45	小栗家住宅主屋	静岡県沼津市	M後期/T後期・S前期増築	小栗家住宅主屋は、沼津御用邸近くの別荘を、明治後期に移築したと伝わる。洋室には青いスペイン瓦を葺くなど、和風住宅の中央に洋館を挿入した特色ある構成の住宅。	建築物	住宅	1
46	川原田(かわらだ)家住宅主屋	愛知県名古屋市	S12年/S56年・H30年改修	川原田家住宅は、名古屋市の大正期に開発した住宅地に位置する。主屋は玄関脇に洋室の応接間を設けるなど、都市近郊住宅の昭和前期の様相を伝える。表門及び塀は敷地北側の西半分、裏門及び塀は敷地南側の西半分、石垣は敷地西側の敷地周縁部を構成するとともに、住宅地の良好な景観を構成している。	建築物	住宅	1
47	川原田家住宅表門及び塀		S13年		工作物	住宅	1
48	川原田家住宅裏門及び塀		S13年		工作物	住宅	1
49	川原田家住宅石垣		S13年頃		工作物	住宅	1
50	富田家住宅木南舎(もくなんしゃ)	愛知県岡崎市	文政10年(1827)/M前期・H30年改修	富田家住宅は幕末まで陣屋代官を務めた医師の住まい。木南舎は代官屋敷の旧主屋で切妻造りの大屋根に越(こし)屋根を載せる。土蔵は2階建ての家財蔵と平屋建ての米蔵からなる。平成30年に改修し、木南舎はレストラン、土蔵は菓子工房及び古文書等展示室として活用している。	建築物	住宅	1
51	富田家住宅土蔵		M9年/H30年改修		建築物	住宅	1
52	西方寺木枯亭(さいほうじこがらしてい)	三重県鈴鹿市	M前期/S40年頃・H24年改修	西方寺木枯亭は本堂の西側に接続し南面して建つ。内部には鞘(さや)の間や座敷を配し、境内を構成する上質な書院。	建築物	宗教	1
53	伊達家住宅主屋	三重県鈴鹿市	M中期/M後期増築	伊達家住宅は肥料、燃料、米等の商い、山林の経営などで財を成した。主屋は伊勢街道に面し、中央主体部の南側に米蔵、北側に納戸が並ぶ。重厚な表構えの豪商の住宅。	建築物	住宅	1

	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
54	横山家住宅主屋	三重県三重郡菰野町 (こものちよう)	E末期/T8年改修・S前期・ 同40年頃増築	横山家は江戸時代には庄屋や代官を務め、近代に入り病院を開院した。主屋は入母屋(いりもや)造りで起り付きの棧瓦葺きで、重厚な外観の上層農家住宅。書院は主屋の西側に渡廊下で接続する。南に重森三玲(しげもりみれい)作庭の枯山水庭園を望む現代の和風書院。尽日庵は二畳台目(だいでめ)の草庵風茶室で、近代数寄屋建築の好例。旧診療所は診察室やレントゲン室を配し、木製シングルを鱗張りにした特色ある外観が目目を引く。土蔵は切妻造りで置き屋根の棧瓦葺きで、小屋組みは登り梁とする。正門は主屋の南東に建つ一間薬医門(いっけんやくいもん)。なお、重森三玲作の庭園は、建造物と同じく登録記念物へ登録予定。	建築物	住宅	1
55	横山家住宅書院及び渡廊下(わたりろうか)		S43年頃		建築物	住宅	1
56	横山家住宅尽日庵(じんじつあん)		M中期/S27年頃・同43年頃 移築		建築物	住宅	2
57	横山家住宅旧診療所		M後期/S20年改修		建築物	住宅	1
58	横山家住宅土蔵		E末期/T8年頃・H28年改修		建築物	住宅	1
59	横山家住宅正門		E後期/S40年頃改修		工作物	住宅	2
60	橋和田家住宅主屋	滋賀県大津市	M中期/S8年頃・H22年・同 29年改修	橋和田家住宅は、江戸時代に当地で呉服太物(ふともの)商を営んだ上野家が明治中期に建てたもの。上野家が建てた主屋は、昭和8年頃の道路拡幅で1階正面下屋の軒が切られた。その際、主屋の東側1間半を除却して敷地奥への通路を確保した。戦後に入り建物を3分割し、東の2つ分を昭和30年までに橋和田家が取得した。主屋は昭和初期の大津における町家改変の様相を伝えている。主屋と同じ頃に橋和田家が取得した土蔵は、戸口回りを鏝絵(こてえ)で飾った丁寧なつくりの土蔵。	建築物	住宅	1
61	橋和田家住宅土蔵		M前期		建築物	住宅	1
62	藤原家住宅	滋賀県大津市	S8年	藤原家住宅の敷地は、橋和田家住宅と同じくもとは上野家の土地だった。昭和8年頃に敷地奥への通路を確保した際に、奥の附属屋を撤去し、2戸1棟の長屋を3棟建て、その内の1戸が藤原家住宅。戦前の大津の長屋形式を示している。	建築物	住宅	1
63	川上家住宅	滋賀県大津市	S8年頃	川上家住宅の敷地は、橋和田家住宅と同じくもとは上野家の土地だった。昭和8年頃に敷地奥への通路を確保した際に、奥の附属屋を撤去し、2戸1棟の長屋を3棟建て、その内の1戸が川上家住宅。同じ棟の東隣は丸亀家住宅。大津の長屋の立面の特徴をよく示している。	建築物	住宅	1
64	丸亀家住宅	滋賀県大津市	S8年頃	丸亀家住宅の敷地は、橋和田家住宅と同じくもとは上野家の土地だった。昭和8年頃に敷地奥への通路を確保した際に、奥の附属屋を撤去し、2戸1棟の長屋を3棟建て、その内の1戸が丸亀家住宅。同じ棟の西隣は川上家住宅。外観や平面などは隣と同様だが、内部の下地窓や欄間(らんま)など細部意匠に相違を見せる。	建築物	住宅	1
65	柴山家住宅	滋賀県大津市	S8年頃	柴山家住宅の敷地は、橋和田家住宅と同じくもとは上野家の土地だった。昭和8年頃に敷地奥への通路を確保した際に、奥の附属屋を撤去し、2戸1棟の長屋を3棟建て、その内の1戸が柴山家住宅。内部に数寄屋意匠を加味するなど大津の長屋の好例。	建築物	住宅	1
66	清水家住宅主屋	滋賀県大津市	T15年/H29年改修	清水家住宅は琵琶湖の西側に位置する、戦前の上質な長屋建築。平成29年に飲食店や民泊のために改修し、現在はカフェとして活用している。	建築物	住宅	1
67	岩崎家住宅主屋	滋賀県大津市	E末期	岩崎家住宅は大津市郊外の集落に所在し、座敷を増築するなど順次拡張した構成を持つ。江戸中期の古材を包含(ほうがん)した湖西の民家として希少。	建築物	住宅	3
68	旧御所水道ポンプ室	京都府京都市	M45年	旧御所水道ポンプ室は琵琶湖疏水から御所へ防火用水を送るためのポンプ庫。宮内省内匠寮(たくみりょう)の設計による水道施設として貴重。	建築物	生活関連	2
69	北村美術館四君子苑(しくんしえん)主屋	京都府京都市	S38年	北村美術館四君子苑主屋は実業家北村謹次郎の元自邸。鉄筋コンクリート造で和風要素を巧みに取り入れた、吉田五十八(よしだいそや)の設計による近代数寄屋住宅の名作。平成13年に敷地内の4件が既に登録となっている。	建築物	住宅	2
70	小川家北白川別邸主屋	京都府京都市	S9年	小川家北白川別邸主屋は小川家の隠居屋として昭和9年に建てた。設計は藤井厚二(ふじいこうじ)で、和の要素を直線的な構成で自由に組み合わせるところに藤井の作風が現れている。表門は主屋と同じ頃に建てたと見積書等から推定できる。設計も主屋と同じ藤井厚二と伝わる。	建築物	住宅	2
71	小川家北白川別邸表門		S9年頃		工作物	住宅	2
72	筒井家住宅主屋	大阪府堺市	E前期/E後期・同末期増築	筒井家住宅は御廟表塚(ごびょうおもてづか)古墳の近傍にある新田開発者の住宅。主屋は入母屋造り茅葺きで、新田管理所を改修し住居としたものと考えられている。新田開発の歴史を示す貴重な遺構。座敷棟は切妻造り本瓦葺きで、式台玄関(しきだいげんかん)を持つ数寄屋風の上質な座敷。茶室は三畳台目茶室とし、不整形な平面が変化に富む外観をつくる上質な茶席。門長屋は敷地南西に建ち、屋敷構えの変遷(へんせん)を物語る建物。土蔵は主屋北側の角屋(つのや)に接続する家財蔵で、敷地北辺の屋敷構えを形成している。土堀は東側庭園を囲い、屋敷構え成立時の敷地景観を今に伝えている。	建築物	住宅	2
73	筒井家住宅座敷棟		E中期/E後期増築		建築物	住宅	2
74	筒井家住宅茶室		E後期		建築物	住宅	2
75	筒井家住宅門長屋		E中期		建築物	住宅	1
76	筒井家住宅土蔵		E後期		建築物	住宅	1
77	筒井家住宅土堀		E中期		工作物	住宅	1

	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
78	永井家住宅主屋	大阪府吹田市	T12年頃/S50年頃改修	永井家住宅は千里丘陵地(きゅうりょうち)に建つ藤井厚二設計の住宅。重要文化財聴竹居(ちようちくきよ)以前に遡る希少な藤井作品の一つ。大工棟梁も聴竹居と同じ酒徳金之助(さかどくきのすけ)。土蔵は土蔵造り2階建てで、平面を正方形とし、基礎は鉄筋コンクリート造の床板を四隅で支えるなど、独特の意匠を見せている。	建築物	住宅	2
79	永井家住宅土蔵		T12年頃		建築物	住宅	1
80	甲南女子中学校・高等学校管理棟	兵庫県神戸市	S43年	甲南女子中学校・高等学校のキャンパスは、平成31年3月に登録した甲南女子大学の東隣に位置する。6件とも設計は村野藤吾(むらのとうご)、施工は大林組で、昭和39年建築の甲南女子大学と同じ。管理棟はキャンパスの中央に位置し、村野によるキャンパス計画の中心をなす。特別棟は鉄筋コンクリート造4階建ての校舎で、様々な工夫で立面に変化を付けている。体育館は鉄骨造2階建てで、大梁を対角に架けて47mの大スパンを確保し、架構を活かした迫力ある空間をつくる。体育研究室は1階をピロティ、二階を凸型の平面とし、軽快なつくりをしている。講堂は六角形平面の南に台形を突き出し座席とする。外観は斜めに立ち上がる壁面に入り組んだ屋根をかけた複雑な形状。守衛室は正門脇に設けられた平屋建ての建物。小規模ながら細部まで意匠的配慮が行き届いている。	建築物	学校	1
81	甲南女子中学校・高等学校特別棟		S43年/H24年改修		建築物	学校	1
82	甲南女子中学校・高等学校体育館		S43年		建築物	学校	1
83	甲南女子中学校・高等学校体育研究室		S43年		建築物	学校	1
84	甲南女子中学校・高等学校講堂		S43年		建築物	学校	2
85	甲南女子中学校・高等学校守衛室		S43年		建築物	学校	1
86	旧駒ヶ林公会堂	兵庫県神戸市	T13年頃/S44年・H19年改修	旧駒ヶ林公会堂は、煉瓦造(れんがぞう)2階建てで、装飾性を抑えた外観とする。用途を変えながら利用され、地域のランドマークとして親しまれている。昭和6年に神戸市に寄付され、戦時託児所や保育所として使用していた。今後の活用については現在検討中。	建築物	文化福祉	1
87	梅谷家住宅主屋	兵庫県加古郡播磨町	S13年頃	梅谷家は代々庄屋(しょうや)を務めた家柄で、昭和13年頃に小学校通学用の別宅として、当地に主屋を建てた。洋室の書斎を持つなど、別宅に必要な機能をまとめた住宅。離れは主屋の西側に建っている。良材を駆使した上質な離れ。北塀及び西塀は敷地の北面と西面を囲む塀で、宅地外周部の景観を形成している。	建築物	住宅	1
88	梅谷家住宅離れ		S14年頃/S40年代改修		建築物	住宅	1
89	梅谷家住宅北塀及び西塀		S前期		工作物	住宅	1
90	内山家貸家	奈良県奈良市	S前期/H29年改修	内山家貸家は、通称奈良町の路地に面して建つ貸家。戦前の良質な貸家住宅の様相を今に伝える。平成29年に改修し、貸イベントスペースとして活用している。	建築物	住宅	1
91	旧長壽會(ちようじゅかい)細菌研究所工場	奈良県奈良市	S前期/S前期増築、H21年改修	旧長壽會細菌研究所は、もと乳酸菌製品の研究及び製造所。工場はキングポストトラスの小屋組みを現している。近代の食品製造施設の形態をよく残している。現在は一部を改修しカフェとして活用している。製品庫も工場とともに当時の食品製造施設の景観を今に伝える。現在は内部改修しイベントスペース等に活用している。	建築物	産業2次	1
92	旧長壽會細菌研究所製品庫		S前期/H17年頃・同26年頃改修		建築物	産業2次	1
93	登彌(とみ)神社本殿	奈良県奈良市	文政(ぶんせい)7年(1824)	登彌神社は奈良市西部の丘の上にあり、本殿は境内の奥に建つ。一間社春日造の2棟を連結し、極彩色(ごくさいしき)で彩る華やかな社殿。棟札により文政7年(1824)の建築であることがわかっている。拝殿は本殿正面の石段下に建つ。旧神楽殿(かぐらでん)を移築、改修したものと伝わり、柱間装置を設けず開放的につくる。神饌所は全体的に均整の取れたつくりで、本殿周りの境内景観を形成する。手水舎は切妻造り本瓦葺き、吹き放しの長方形平面で、中程に手水鉢(ちようすばち)を据える。簡素ながら堅実なつくり。社務所は正面中央に唐破風(からはふ)の式台玄関を付し、装飾を抑えた端正なつくり。	建築物	宗教	2
94	登彌神社拝殿		寛政11年(1799)頃/S14年改修		建築物	宗教	1
95	登彌神社神饌所(しんせんしょ)		S14年		建築物	宗教	1
96	登彌神社手水舎(てみずしゃ)		S14年		建築物	宗教	1
97	登彌神社社務所		S13年		建築物	宗教	1
98	旧真法院客殿及び庫裏(西宮家住宅主屋)	奈良県桜井市	嘉永3年(1850)	旧真法院(西宮家住宅)は、旧妙楽寺子院が神仏分離後に社家住宅となったもの。主屋の内拝所はもと仏間で、本尊(ほんぞん)厨子(ずし)は小屋裏に据えており、密かに拝んだと伝わる。子院建築の好例。表門は棟門(むなもん)で、木柄(きがら)が太く、一軒疎垂木(ひとのきばらだるき)の深い軒は力感ある外観を持つ。塀重門は土塀に開く腕木門(うでぎもん)で、檜皮(ひわだ)葺きの軒付けを残す、軽快な印象の門。	建築物	宗教	2
99	旧真法院表門(西宮家住宅表門)		嘉永2年(1849)/S60年頃改修		工作物	宗教	1
100	旧真法院塀重門(西宮家住宅塀重門(へいじゅうもん))		嘉永3年(1850)/S60年頃改修		工作物	宗教	1
101	旧慈門院客殿及び庫裏(陶原(すはら)家住宅主屋)	奈良県桜井市	E中期/E末期改修	旧慈門院(陶原家住宅)は、旧妙楽寺子院が神仏分離後に社家住宅となったもの。客殿及び庫裏は襖絵(ふすまゑ)も良く残り、昭和49年に41面の襖絵、板絵(いたゑ)が国の重要文化財に指定され、現在は奈良国立博物館に寄託されている。近世の妙楽寺子院の様相を伝える。持仏堂は畳敷き1室の内部、中央北寄りに厨子を据える、丁寧な造作のお堂。小座敷及び土蔵は、東の入母屋造りの小座敷と西の切妻造り置き屋根の土蔵により構成する。表門は敷地南側の石垣上に建つ長屋門で、敷地正面を印象付けている。塀重門は腕木門で、棧唐戸(さんからと)の扉を花格子で飾るなど、庭からの景色を華やかに整える。	建築物	宗教	2
102	旧慈門院持仏堂(陶原家住宅持仏堂)		E後期		建築物	宗教	1
103	旧慈門院小座敷及び土蔵(陶原家住宅小座敷及び土蔵)		E後期		建築物	宗教	1
104	旧慈門院表門(陶原家住宅表門)		M前期		建築物	宗教	1
105	旧慈門院塀重門(陶原家住宅塀重門)		E末期		工作物	宗教	1

	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
106	荘司(しょうじ)家住宅主屋	奈良県生駒郡安堵町 (あんどちょう)	E後期/S39年頃改修	荘司家住宅は代々村役を務めた旧家。主屋の屋根は大和棟で両妻に落棟、正面と背面に下屋を付す。当地に残る希少な近世大和棟民家の一つ。別座敷は主屋の東側に接続して建ち、主屋とともに敷地内の景観を構成している。新座敷及び稲納屋は新座敷に上質な床構えを備えるなど、旧環濠沿いの集落景観を今に伝える。内蔵は主屋に接続する道具蔵兼文書蔵、土蔵は敷地北東に建つ道具蔵で、ともに敷地北辺の屋敷景観を形成している。米蔵は大正2年頃の建築で、旧家の屋敷構え拡張の様相を伝えている。	建築物	住宅	1
107	荘司家住宅別座敷		M32年/T後期増築		建築物	住宅	1
108	荘司家住宅新座敷及び稲納屋		M中期/T2年頃・S10年頃増築		建築物	住宅	1
109	荘司家住宅内蔵		E後期		建築物	住宅	1
110	荘司家住宅土蔵		M中期/S10年頃増築		建築物	住宅	1
111	荘司家住宅米蔵		T2年頃		建築物	住宅	1
112	橋本太次兵衛家住宅新座敷	和歌山県御坊市	M後期	橋本家はもとは代々太次兵衛を名乗り、近世に肥料商や砂糖問屋を営んだ商家で、近代に大地主になった。新座敷は木造2階建てで、比較的小規模で建ちが高く、良材を用いている。旧米穀集荷事務所は寄棟(よせむね)造り檼瓦葺きで、外壁は下見板張り、小屋組みはキングポストララスとするなど、洋風の意匠と構造が特徴。昭和21年に郵便局となる際に改修し、カウンターや電話室を設けた。土塀は基礎は石積み、上部壁面はモルタル洗い出し仕上げで、旧熊野街道沿いの景観を構成している。	建築物	住宅	1
113	橋本太次兵衛家住宅旧米穀集荷事務所		T後期/S21年改修		建築物	産業3次	1
114	橋本太次兵衛家住宅土塀		T後期		工作物	産業3次	1
115	向(むかい)酒店店舗兼主屋	広島県尾道市	T14年頃	向酒店店舗兼主屋は尾道市街地に建つ店舗兼用住宅。大屋根は檼瓦葺だが、一階正面の庇(ひさし)を本瓦葺として重厚に見せる。二階の建ちは高く、近代の町家の特徴を持っている。	建築物	産業3次	1
116	金光(かねみつ)酒造離れ	広島県東広島市	T後期	金光酒造は東広島市の南西部、黒瀬川流域に位置する。離れは主屋(登録範囲外)の南側に渡り廊下を介して建つ。磨き丸太の縁桁(えんげた)など数寄屋意匠を取り入れた造酒家の離れ。瓶詰所は住宅の一部を、包装所は家財蔵を、それぞれ転用したもので、醸造施設の一部を構成する建物。仕込蔵は土蔵造り2階建てで、1階で仕込みを行う醸造施設の主要な建物。貯蔵蔵は仕込蔵に接して建つ、桁行39mと長大な土蔵。周囲からよく見え、酒造場の景観を形成している。井戸小屋は木造平屋建てで、四隅に柱を立て、中央に石造で井桁を組んだ井戸を配す。酒造りに欠かせない水を供給する施設。門及び塀は主屋から東に延びる塀の中央に一間薬医門を開く。煙突は高さ12mのイギリス積みの煉瓦造で、地域のシンボルとなる。	建築物	産業2次	1
117	金光酒造瓶詰所		T前期		建築物	産業2次	1
118	金光酒造包装所		M前期		建築物	産業2次	1
119	金光酒造仕込蔵		M前期/M後期増築		建築物	産業2次	1
120	金光酒造貯蔵蔵		M後期/T後期増築		建築物	産業2次	1
121	金光酒造井戸小屋		S前期		建築物	産業2次	1
122	金光酒造門及び塀		S前期		工作物	産業2次	1
123	金光酒造煙突	S前期	工作物	産業2次	1		
124	榊山(さかきやま)八幡神社本殿	広島県東広島市	M40年/S前期改修	榊山八幡神社は瀬戸内海を臨む丘の上にある神社。本殿は明治40年の建築で、境内の奥に南面して建つ、重厚なつくり。拝殿及び幣殿は本殿正面の石段下に建ち、社頭(しゃとう)景観を重厚に演出している。神門及び塀は本殿の四周を圍繞(いじょう)する門と塀。神門は一間腕木門で、森蔵(しんげん)な本殿回りの景観を整えている。松尾神社本殿は酒造関係者が松尾大社から勧請(かんじょう)したもので、地域の酒造業繁栄の歴史を物語る社殿。護国神社本殿は拝殿前方の参道に建つ、村内戦没者を祀る社殿。隨身門は三間一戸八脚門(さんげんいっこはつきやくもん)で、境内で唯一の近世建築。	建築物	宗教	1
125	榊山八幡神社拝殿及び幣殿(へいでん)		M40年/S58年改修		建築物	宗教	1
126	榊山八幡神社神門及び塀		S15年		工作物	宗教	1
127	榊山八幡神社松尾神社本殿		S4年頃		建築物	宗教	1
128	榊山八幡神社護国神社本殿		S28年頃		建築物	宗教	1
129	榊山八幡神社隨身門		天明2年(1782)頃/S10年代改修		建築物	宗教	1
130	旧江田島海軍下士卒(かしそつ)集会所(海友舎)二階建棟	広島県江田島市(えたじまし)	M40年	旧江田島海軍下士卒集会所は、明治期に海軍が下士官兵の福利厚生施設として各軍港に建設した下士卒集会所の一つ。二階建棟は明治40年の建築で、木造2階建て、下見板張りの外壁に上げ下げ窓を並べる洋館。平屋建棟は二階建棟の背面に建つ。明治38年に建てた呉海軍下士卒集会所桜松館を昭和3年に移築したもの。二階建棟とともに木造の旧海軍下士卒集会所として希少な遺構。	建築物	その他	2
131	旧江田島海軍下士卒集会所(海友舎)平屋建棟		M38年/S3年移築		建築物	その他	1
132	榊森(さかきもり)神社本殿	広島県安芸郡熊野町	E末期/M16年改修	榊森神社は熊野町北部に位置し、本殿は石段を登った境内地の北西に建つ、三間社流造(さんげんしゃながれづくり)銅板葺き。拝殿は本殿の南に渡殿及び幣殿を介して建つ。入母屋造り妻入りの屋根は境内空間の象徴的な存在。	建築物	宗教	1
133	榊森神社拝殿		M16年頃		建築物	宗教	1
	注 建設年代：Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成の略。 種別：土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。 基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。						